（別紙３）

介護ロボット使用状況報告書

令和５年３月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人財団　すいめい会	介護老人保健施設 オレンジガーデン・ケアセンター	介護老人保健施設

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名
① 見守りロボット	① 眠り SCAN　NN-1320

介護ロボット導入時期	導入台数
① 令和４年２月17日	①　　79台

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

令和４年２月17日79台導入。以前導入した物と併せて全居室への設置完了。利用方法としては主として夜間における、ベッド上での睡眠状態の確認と、機器による起床予測に伴う事前察知。

【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。

居室全床に眠り SCAN を導入しているが、導入前に介護職員から取ったアンケートと、全床導入後の今回介護職員を対象としたアンケートの結果比較では導入前と比べ、導入による業務負担感がおよそ２９％程度低する改善結果となった。

夜間、ベット上からの転落事故件数は前年と比較した結果は、件数の減少がみられなかったが、眠り SCAN の確認により事故後の発見時間が早期であった事が、３件見受けられた。これは、施設利用者のナースコールや大声での呼びかけよりも早く職員が察知できた為で、数値では出ていないが事故が未然に防げた件数は事故発生件数よりも多いと思われる。

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

全床で眠り SCAN を導入して丸１年を経過したが、やはり複数のアラームが同時に乱立すると古い情報から目立たなくなる為、直接確認する必要があるアラームを取り零す可能性が高まる。